

# 発見！白井の仕事人 50

地域医療で住み良いまちづくりに貢献する

千葉白井病院

今回は、市役所北東側に平成27年12月に新規開院した「千葉白井病院」を紹介します。



千葉白井病院の外観

千葉白井病院は内科、循環器科、消化器科、小児科、整形外科のほか20科目が連携する救急指定の総合病院です。同院は、土・日曜日も平日と変わらない通常診療が行われていることが特徴です（土・日曜日は祝日を問わず診療しています）。病床の約半分を回復期リハビリ用に充てており、患者の社会復帰を強く手助けしています。

さらに、敷地内に介護付き有料老人ホーム「ウィズホスピタル千葉白井」と介護老人保健施設「アモールケア白井」を同時開設した全国的にも珍しい病院で、救急などの急性期からリハビリ・介護・在宅までのシームレスケアを可能にしています。

筒井雅人院長に白井市に病院を開院した理由を尋ねると、院長は防衛医科大学卒業後に自衛隊病院で総合診療に関わり、アメリカで最先端医療にも触れた経験から関東で高度医療を提供する病院を開きたいと思うようになったそうです。

人口に比べて病院が少なく、将来確実に高齢化が急速に進むと見込まれる白井市に注目し、医療面から貢献できるのではな

いかと考えました。父親が高知県を中心に医療法人グループ

（医療法人互生会など）を経営しており、高齢化の進む四国での病院経営のノウハウが役立つと予見したことも開院の理由の一つです。

その他の特徴として、経営者と院長が同一人物であることから経営でも臨床でも素早い意思決定ができるため、スタッフにストレスが少ないことがあげられます。ほとんどのドクターが同じ大学出身で仲が良かったため、患者診療に対し、さまざまな分野・見地から協力し合えるのが強みで、土日診療も皆の意気込みで可能になっているとのこと。院長いわく、名医やイケメンドクターも多いそうです。



千葉白井病院の常勤医師の皆さん

今後の抱負を筒井院長に尋ねると「ゼロから作った病院で、集まってきたくれたスタッフに何が出来るか、どのようなことをしてあげられるかを考え、それを実現することで大きくなってきました。同じように白井市の皆さんがどういった医療を求めているのか模索しながら、それにあわせて変化し、成長できる病院にして行きたいです」と力強く語ってくれました。

問 商工振興課商工振興班 内

線 3242